

報道関係者各位

韓日国交正常化 60 周年記念展示会 「今に続く柳宗悦の心と眼」 － 1937 年の「全羅紀行」をめぐって

この度、駐日韓国文化院では韓日国交正常化 60 周年を記念し、公益財団法人 日本民藝館とともに『「今に続く柳宗悦の心と眼」－1937 年の「全羅紀行」をめぐって』と題した展示会を開催する運びとなりました。日本民藝館の創設者である柳宗悦(1889～1961)は、日本の植民地下の朝鮮(現在の韓国)に関心を持ち、その美を見出し、そして人々の友であらうとしました。

本展では、柳宗悦が陶芸家の河井寛次郎や濱田庄司らとともに全羅道や慶尚道の工芸について調査し、まとめた資料『今も続く朝鮮の工藝』(1947 年)に掲載された日本民藝館所蔵の工芸品約 30 点と、同書に寄稿された柳の肉筆原稿や関連資料、また、2022 年から 2023 年にかけて実施された慶尚道と全羅道を中心とする『今も続く朝鮮の工藝』の現況調査の成果を展示します。

さらに、展示会と併せてシンポジウム(6月28日)と講演会(7月11日)を開催し、柳一行がかつて出會い、現在に続く韓国伝統工芸の魅力に迫ります。

つきましては、本イベントの周知にご協力いただけますようお願いいたします。

資料のご依頼、取材のお申し込みは、駐日韓国文化院(03-3357-5970)までご連絡下さいますようお願い申し上げます。

【イベント概要】



■会期：2025年6月18日(水)～8月2日(土) 10:00～17:00

※休館日：日曜日、祝日

※開幕式：2025年6月18日(水) 14:00～

■会場：韓国文化院 1F ギャラリーMI †入場無料

〒160-0004 東京都新宿区四谷 4-4-10

■アクセス：地下鉄メトロ丸ノ内線「四谷三丁目駅」一番出口より徒歩3分

■展示内容：日本民藝館が所蔵する1930年代の韓国工芸、河井寛次郎、濱田庄司の作品などを展示

■主催：駐日韓国大使館 韓国文化院、公益財団法人 日本民藝館

■後援：北杜市、北杜市教育委員会、国外所在文化遺産財団

■学術協力：東京藝術大学美術学部工芸史研究室

■展示協力：藤本巧(写真家)

■特別協賛：公益財団法人 国際文化会館

【お問い合わせ】駐日韓国大使館 韓国文化院 ☎03-3357-5970 ◯www.koreanculture.jp

イベント担当 河聖煥(ハ・ソンファン) / 広報担当 趙恩京(ジョ・ウンギョン)

【関連記念イベント】

シンポジウム「今も続く韓国工芸 – 国外所在文化遺産財団助成による調査成果発表」

本シンポジウムでは、『今も続く朝鮮の工芸』の現状調査を踏まえ、韓国工芸の現状や将来について韓日の研究者が紹介します。

・日時：2025年6月28日（土）13:00～17:00 ※開場 12:30

・会場：韓国文化院 2F ハンマダンホール

【プログラム】

- ・総合司会：杉山享司（日本民藝館 常務理事）
- ・挨拶：国外文化遺産財団 理事長 金延禧、駐日韓国大使館 韓国文化院長 朴英恵
- ・発表：「日本民藝館所蔵 柳宗悦朝鮮関連資料の調査について」田代裕一郎（東京文化財研究所・研究員）
「全羅紀行 再訪 — 柳宗悦・河井寛次郎・濱田庄司による踏査の記録性と現代における意義」
片山まび（東京藝術大学美術学部 教授）※休憩
- ・発表：「谷城下汗里窯調査の現況」権赫周（民族文化遺産研究院 企画委員）
「羅州盤の昨日と今日」尹芝香（羅州市 文化芸術課文化政策チーム長）
「釜山沙上の葦箒」黄景熙（沙上生活史博物館 学芸員）
- ・座談会：発表者による座談会

【シンポジウムへの参加お申込み】

- ・募集人員：300名様
- ・申込方法：韓国文化院 HP(www.koreanculture.jp)の応募コーナーより事前申込（会員登録要）
- ・申込締切：6月21日（土）
※定員を超えた場合は抽選とさせていただきますので、予めご了承ください。
※当選された方へのみ、6月24日（火）まで確認書をメールにてお送りします。
落選された方には別途ご連絡をいたしませんので予めご了承ください。

記念講演会「柳宗悦たちが辿った韓国の道を歩く」

本講演会では、1970年より韓国の風土を撮影してきた写真家の藤本巧さんが、柳一行が訪ねてきた場所を写真資料とともに紹介し、彼らの活動を辿ります。

・日時：2025年7月11日（金）19:00～20:30（開場 18:30）

・会場：韓国文化院 2F ハンマダンホール

・司会進行：杉山享司（日本民藝館 常務理事）

・講師：藤本巧（ふじもと たくみ）

写真家。1949年、島根県生まれ。1970年から韓国の風土と人々を撮り続ける。

写真集に『韓くに三部作』、『韓くに風の旅』、『韓くに、風と人の記録』、『私の心の中の韓国』ほか多数。

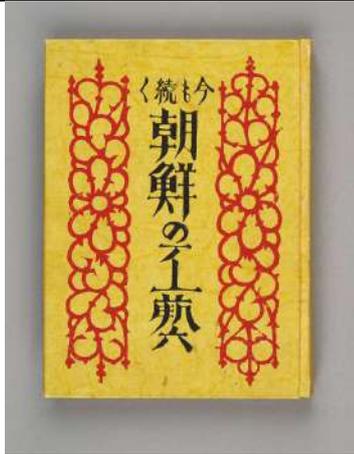
2011年には4万7000点余りの韓国関連の写真を韓国国立民俗博物館に寄贈。

1987年度咲くやこの花賞、2011年度韓国文化体育観光部長官賞、第39回 土門拳賞を受賞。

【講演会への参加お申込み】

- ・募集人員：300名様
- ・申込方法：韓国文化院 HP(www.koreanculture.jp)の応募コーナーより事前申込（会員登録要）
- ・申込締切：2025年7月3日（木）
※定員を超えた場合は抽選とさせていただきますので、予めご了承ください。
※当選された方へのみ、7月7日（月）まで確認書をメールにてお送りします。
落選された方には別途ご連絡をいたしませんので予めご了承ください。

【出品作品（予定）】



『今も續く朝鮮の工藝』
1947年 日本民藝館蔵



「全羅紀行」柳宗悦の肉筆原稿
1937年 日本民藝館蔵



「竹細工の町(潭陽)」藤本巧
1970年 作家蔵



「呉須刷毛目扁壺」河井寛次郎
1937年 日本民藝館蔵



「長い未来」ソ・シンジョン
国家無形遺産「彩箱匠」保有者
2014年 国家遺産庁蔵



「羅州盤」
日本民藝館蔵